

- ・中国による日本産水産物輸入の全面停止により、道内の漁業生産者等に大きな影響
- ・ホタテをはじめとして中国に輸出されている水産物は、仕向け先を失う可能性が大きく、販路の拡大や開拓が必要



**道では、生産者等を応援するため、道産水産物の消費を促進する
「食べて応援！北海道」キャンペーンを実施します！**

キャンペーン概要



【キャンペーンコンセプト】

中国による日本産水産物の輸入停止措置により、突然大きな販路を失ってしまったホタテなどの道産水産物。苦しい状況の中でも、道内の漁業者は、海の環境を守る努力をしながら、安全・安心で美味しい水産物を届けるため、漁業を続けている。このキャンペーンを通じ、消費者の皆さんには、これまで以上に道産水産物を選び、購入し、食べていただくことで、国内消費を増やし、生産者や関連業界の応援につなげる。

【内容】

- 道内大手量販店やコンビニエンスストア等にキャンペーン参加への協力を呼びかけ、ホタテを中心とした道産水産物の消費促進運動を展開します。
- キャンペーン協力店には、共通ロゴや知事メッセージなどを提供し、店舗やチラシ、SNS等で活用していただきます。
- 道においても、ふるさと納税を活用した PR、アンテナショップでの販促キャンペーンや、様々な広報ツール等を使った情報発信に取り組みます。

【近日中にスタートする内容】

- 全道のイオン店舗でのホタテ等PR販売
(イオン北海道株式会社)
- イオンレイクタウン mori(埼玉県)での道産水産物PR
(イオンリテール株式会社 北関東カンパニー)
- 道庁食堂で道産ホタテメニューを週1~2回提供
(シダックス株式会社)
- どさんこプラザ一斉キャンペーンの実施
このほか、道のウェブページで順次公表します。

- ・キャンペーン全体に関すること、
全道イオン店舗での PR 販売に関すること
担当:水産林務部
藤田(内線 28-018)、下村(内線 28-167)
- ・イオンレイクタウン mori での PR に関すること
担当:官民連携推進局
筒井(内線 23-486)
- ・道庁食堂でのホタテメニュー提供に関すること
担当:総務部人事局職員厚生課
玉川(内線 22-301)、山村(内線 22-342)
- ・ふるさと納税に関すること
担当:官民連携推進局
武藤(内線 23-454)、高橋(内線 23-486)
- ・アンテナショップでの取組に関すること
担当:経済部食関連産業局食産業振興課
小椋(内線 26-804)、吉田(内線 26-253)